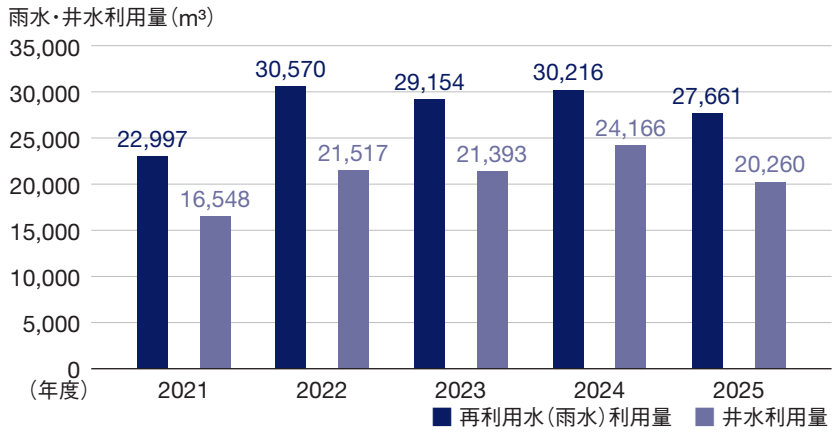
6.安全な水とトイレを世界中に

水道使用量削減への取り組み

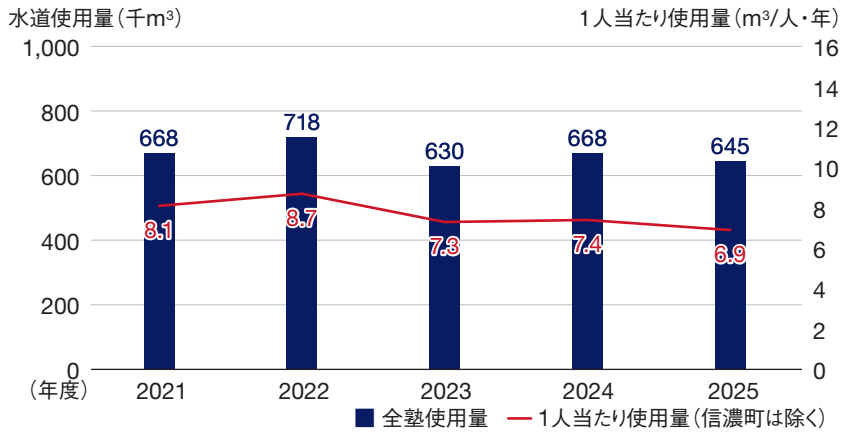
三田、日吉、信濃町キャンパスおよび大学病院では、雨水を処理し、再利用水としてトイレの洗浄水などに使用しています。また、湘南藤沢キャンパス(SFC)では、独立型自家用専用水道「地下水膜ろ過システム」を使用して井水を雑用水および飲料用として、信濃町キャンパスおよび大学病院では、災害用井戸システムを設置して日常的にも井水を雑用水として使用しています。

再利用水(雨水)・井水利用量



直近一年の変化 | 評価

水道使用量



直近一年の変化 | 評価

信濃町メディアセンター(図書館)にウォーターサーバーを設置

信濃町キャンパスのメディアセンターでは、学生の多様な「学び」をサポートする環境整備の一環として、2026年3月、利用者からの要望が多かったウォーターサーバーを1階カウンター前に設置しました。マイボトルを持参すれば誰でも気軽に給水でき、館内全エリアへ「密閉可能な容器に入った飲物」として持ち込むことが可能です。マイボトルの利用を促進することで、使い捨てペットボトル等の削減にもつながる取り組みです。

慶應義塾では、今後も全キャンパスでのウォーターサーバーの増設や配置見直しを進めるとともに、認知度や使用率の向上に取り組んでいきます。

